

高田大隅つどいの丘商店街

ミニ「あかりの木」制作

2012.8.18 ~ 8.19

参加レポート

今回、震災復興支援活動の一環として、岩手県陸前高田市の子どもまちづくりクラブ「絆～Save the hope TAKATA～」の活動にボランタリースタッフとして参加してきました。

子どもまちづくりクラブとは、国際子ども支援NGOセーブ・ザ・チルドレン・ジャパンの活動の一環で、自分たちのまちをより良いまちにするために、子どもたち自身で話し合いながらさまざまな活動を行うもので、岩手県山田町、岩手県陸前高田市、宮城県石巻市の3つの地域で行っています。陸前高田市の子どもまちづくりクラブでは、高田大隅つどいの丘商店街で、陸前高田を照らし、みんなが集えるシンボル「あかりの木」という高さ約4mのモニュメント制作を、子どもたちが中心となって進めてきました。

この2日間、モニュメントの完成を目指して、子どもたちと一緒にペイントをしてきました。メンバーは小学生から高校生まで、歳は離れていてもみんな仲良しで、明るく楽しいワークショップとなりました。元気なメンバーによるペイントによって、見る人を明るい気分にさせてくれる、そんなモニュメントが出来上がったこと思います。



子どもまちづくりクラブメンバーと
ボランタリースタッフの顔合わせ

全体のバランスを見ながら
ペイントする色を考えます



感動創造研究所スタッフも
一緒にになってペイントしました

仕上げの段階に入ってきました



ミニ「あかりの木」
組立て完了！！



ベンチも子どもたちによる
オリジナルペイントです



休憩中も商店街ではしゃぐ
元気な子どもたち



高田大隅つどいの丘商店街は、3.11 大震災で被害を受けた高田町の商店街から 14 の店舗等が集まり、1 年がかりで再出発を果たした、市内で最も規模の大きい仮設商店街です。

商店街の協力により、子どもたちのプロデュースした「いこいのひろば」ができ、今回そのシンボルとなるミニ「あかりの木」制作を実現することができたそうです。

今回私たちは、子どもたちと商店街をはじめとする地域の方々との世代を超えたコラボレーションによって実現できたという、素敵なものがたりに感動し、活動に関わらせて頂きました。この 2 日間、現場の子どもたちと寄り添って作業出来たことを本当に光栄に思います。現在最終調整中で、9月 9 日（日）に完成予定です。

今回制作したミニ「あかりの木」が、陸前高田の復興へ向けて大きな夢の第 1 歩となり、子どもたちや商店街の想いを多くの人に伝えていく存在になっていくことを祈っています。

